

全体	42
個別	13-01

## 令和元年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名	教育総務課
----	-------

区分	項目	島っこ留学制度による留学生の招致推進
1	<b>【内容】</b> 「島っこ留学制度」は、豊かな学びと地域における体験活動等を願う島外の方を対象に、市内の小・中学校に入学または転学を希望される児童・生徒を受け入れ、対馬市の学校並びに地域の活性化と教育の振興・充実を図る事を目的として平成27年11月からスタートした制度です。 複式学級の解消等も考慮し、西小校区、仁田小校区及び新たな校区での受入を推進するとともに、体験留学、広報事業の充実と里親の追加募集を行います。	
組織目標	<b>【指標】</b> ○留学生招致 3名以上（小学生若しくは中学生） →体験留学（5組10名程度）を実施します。 →HP・SNSに重点をおいた情報発信や広報事業を実施します。 →福岡での事業説明会を実施します。 →里親を追加募集し、受入体制の整備を行います。	
2	<b>実績（成果）</b> 里親として仁田地区に2名の確保ができました。 令和元年度10名の留学生のうち継続4名と、令和2年度新規で6名の留学生を招致できました。	
3	<b>評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の2年間は招致ができませんでしたが、平成29年度は4名、30年度は7名、令和元年度は6名の留学生招致に成功しました。</li> <li>・体験留学では、3世帯6名の参加者があり、3名全員から申込みがあったが受入の関係で2名の受入となりました。</li> <li>・福岡事業説明会に5家族の参加者があり、全員が留学生となりました。</li> <li>・事前視察を9家族受け入れ、うち4名が留学生となりました。</li> <li>・広報・啓発事業は専門業者と委託契約し、ホームページの運営・更新、活動写真撮影、SNS等による情報発信、チラシ作成を実施しました。</li> </ul>	
4	<b>今後の展開</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里親を確保するため再度募集をかける必要がありますが、非常に困難な状況です。</li> <li>・受入体制の充実を図ることが急務であります。</li> <li>・SNS等インターネットを利用した広報活動や情報発信に重点をおいて展開する必要があります。</li> <li>・体験留学は、可能性が高い世帯を選出し、効果を高める必要があります。</li> </ul>	

全体	43
個別	13-02

## 令和元年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名	学校教育課
----	-------

区分	項目	ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成		
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>【対馬の未来を担う人材育成のための教育の推進】</p> <p>1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成 2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成 3. 生徒指導及び特別支援教育の充実 4. 校種間連携、地域との連携の推進 5. 幼稚園・こども園教育の充実</p> <p>【指標】</p> <p>1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成  (1) 学校訪問時及び各種研修会における指導助言 (2) ICTを活用した授業支援、研修会の実施</p> <p>2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成  (1) ふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画作成 (2) 部活動休養日の設定 (3) フッ化物洗口推進事業</p> <p>3. 生徒指導及び特別支援教育の充実  (1) S S W及びS Cとの連携と効果的活用 (2) 教育支援委員会の充実</p> <p>4. 校種間連携、地域との連携の推進  (1) 中学校と高等学校の連携強化</p> <p>5. 幼稚園・こども園教育の充実  (1) 特色ある園づくり</p>		
2		実績（成果）	<p>1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成  (1) 指導法改善研修会を小学校・中学校合同で1回、中学校で1回、研究指定校9校の支援を行いました。  (2) 新任校長校等を含む9校を訪問し、授業参観と指導助言を実施しました。</p> <p>2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成  (1) 全ての学校において、ふるさと学習全体計画を作成しました。  (2) 中学校において、週2回の部活動休養日を設定しました。</p> <p>3. 生徒指導及び特別支援教育の充実  (1) S S Wと4回、分教室の担当者と5回以上の情報交換会を行いました。  (2) 教育支援センターを開設し、不登校児童生徒への支援を行いました。  (3) 特別支援教育関係職員への研修の充実を図りました。</p> <p>4. 校種間連携、地域との連携の推進  (1) 対馬市中高連携協議会の効果的な運用を図るとともに、市内3高校部会に参加しました。また、対馬市上地区連携型中高一貫教育に係る推進協議会、合同職員会議を開催しました。</p> <p>5. 幼稚園・こども園教育の充実  (1) 園長会を4回、研修会を5回実施しました。また、鶏鳴幼稚園の研究園援助を実施しました。</p>	
3			評価	<p>各種研修会や学校訪問、研究指定校事業などを計画通りに実施し、教職員への指導や助言を通して、目標の実現に努めることができました。</p> <p>○ (1) 確かな学力の定着に向けて、指導法改善研修会や複式指導法研修会等の各種研修会を実施して教職員の指導力向上に努めることができました。  (2) 学校訪問等の際に、道徳の授業参観や授業づくりの指導を行い、道徳教育の充実につなげることができました。</p>
4				<p>(1) ふるさと学習の一層の充実にあ資するため、各学校の全体計画の工夫や、校種間連携を意図した学習内容の整理を指導します。</p> <p>(2) ICT機器の効果的かつ積極的な活用を促す研修の充実にあ努めるとともに、校務支援システムの効果的な活用を通して、教職員の働き方改革を推進します。</p>
	今後の展開			

全体	44
個別	13-03

## 令和元年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名	生涯学習課
----	-------

区分	項目	地域の特徴を活かした生涯学習の推進
1	組織目標	<p>【内容】</p> <p>○しまの魅力に出会う 日本の宝「しま」交流支援事業対馬市コースの実施          県内すべての子どもたちを対象として、「しま」ならではの体験を通して、島と本土の子どもたちの相互交流を深めるとともに、ふるさとを愛する心やコミュニケーション能力の育成、国境離島の重要性や必要性を認識させるような事業を実施します。          実施期間：7月27日（土）～30日（火）</p> <p>【指標】</p> <p>○参加者数 60人（市外参加者40人、市内参加者20人）          ○大学生ボランティア 10人          ○高校生ボランティア 10人          ○地元教職員ボランティア 10人</p>
2	実績（成果）	<p>【内容】</p> <p>より充実した体験プログラムを企画するため実行委員会委員を平成30年度から2名増員した11名体制の実行委員会とし、昨年度に引き続き対馬市全体を網羅した形のプログラムを実施しました。また、令和元年度からの新たな取り組みとして、「対馬のPRポスター製作」をテーマとしたグループワークを行いました。          主な体験活動は下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そば打ち、ろくべえづくり体験</li> <li>・つしま講座</li> <li>・渡海船クルージング</li> <li>・シーカヤック体験</li> </ul> <p>【成果】</p> <p>○参加者数 50人（市外参加者38人、市内参加者12人）          ○大学生ボランティア 9人          ○高校生ボランティア 15人          ○地元教職員ボランティア 0人</p>
3	評価	<p>△ 「対馬のPRポスター製作」というテーマを設定し、4日間を通じたグループワークを行ったことで、対馬に対するより深い学びや参加者間のコミュニケーションが促進され、事業の目的を達成できたと言えます。また、参加者に対する事後アンケートの結果、95%が「とても楽しかった」と回答し、93%が「もう一度対馬に行きたいと思う」と回答していました。このように、参加者の満足度も高く、再度来島したいと回答する参加者も多かったことから、将来的な交流人口の拡大のためにも効果があったと言えます。</p> <p>しかし、指標としていた参加者等の人数については、昨年度59人から今年度74人に増加したものの、目標を下回る人数でした。</p>
4	今後の展開	<p>これまでの継続した事業展開によって、参加者の体験プログラム等に関するベースが確立されてきています。今後はそのベースを活かし、内容を精査・充実させます。</p> <p>また、参加者の獲得については、2年連続で目標を下回っているため募集方法の大幅な見直しが必要と考えます。SNS等を活用した募集等も視野に入れながら改善に努めます。</p>

全体	45
個別	13-04

## 令和元年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名	文化財課
----	------

区分	項目	文化財の保存・活用（対馬藩関連遺産群保存活用計画の策定）
1	【内容】	対馬藩関連遺産群のうち、金石城跡、旧金石城庭園の今後の保存・整備活用の方針を定めた保存活用計画を策定します。
組織目標	【指標】	「対馬藩関連遺産群保全整備委員会」を設置し、計画策定に向けた協議を行います。
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年4月「対馬藩関連遺産群保存活用計画等検討委員会設置要綱」を作成し、委員会の設置について明文化しました。</li> <li>・上記要綱に基づき、対馬藩関連遺産群保存活用計画等検討委員会を設置し、対馬市内外から5人の委員に就任いただきました。</li> <li>・令和元年12月12・13日の2日間で委員会を開催し、現地視察・協議を行い各専門分野からの知見を得ました。</li> </ul>
3	評価	<div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">○</div> 委員会設置要綱を設置し、委員会を開催して対馬市の歴史的遺産についての必要な指導及び助言を得て、保存活用計画の作成の参考資料とすることができました。
4	今後の展開	令和2年度も引き続き事業を継続し、委員会を複数回開催して保存活用計画策定を目指します。

全体	46
個別	13-05

## 令和元年度〔教育委員会事務局〕目標の成果

課名	文化財課
----	------

区分	項目	文化財の保存・活用（赤米サミット・赤米交流事業の開催）
1	【内容】	赤米栽培と、それに伴う行事が伝承されている岡山県総社市、鹿児島県南種子町、本市の3市町の関係者が一堂に会し、保存と活用について意見を交換し、友好と交流を深めるため、赤米サミットを本市で開催します。 また、3市町の子供達の交流を深めるため、岡山県総社市、鹿児島県南種子町の子供達を招き、「赤米交流事業」を開催します。
	【指標】	・赤米交流事業：8月上旬開催予定 ・赤米サミット：11月中旬開催予定
組織目標		
2	実績（成果）	・夏休みを利用して実施された「赤米子ども交流事業」は、台風の影響で日程の変更を余儀なくされましたが、豆殿小学校での3市町の子供交流は実施することができました。 ・赤米サミットについては全日程計画どおり実施でき、好評を得ることができました。
3	評価	◎ サミットの開催については、地元でも多くの方々に参加いただき、大変好評でした。 豆殿の赤米行事に対する理解も得られたものと思います。
4	今後の展開	令和2年度は鹿児島県南種子町でサミットを開催し、サミットと同時に「赤米子ども交流事業」も開催される予定。対馬からも参加の方向で調整中です。